

令和2年度 第23回国頭地区中学校夏季総合体育大会空手道競技大会要項

- 1 主催 国頭地区中学校体育連盟
- 2 共催 沖縄県教育委員会 国頭地区 PTA 連合会 国頭地区市町村教育委員会
- 3 日時 令和2年 8月2日(日) 集合8:30(マット設営開始)
監督会9:00 審判会議9:30 開始10:00
- 4 会場 東江中学校 体育館
- 5 企画・運営 国頭地区中体連空手道専門部
- 6 競技種目 男子個人組手・形 女子個人組手・形
男子団体組手・形 女子団体組手・形
- 7 参加人数 男女とも参加人数の制限はない。
選手の引率、監督は当該校の教職員とする。
- 8 参加申込 申込用紙に必要事項を記入の上、夏季総体申込〆切(7月15日水曜日)までに本部中学校の高良重雄先生宛に提出する。郵送か直接持参すること。
- 9 競技規則 令和元年度(公財)全日本空手道連盟規則並びに国頭地区中体連空手道専門部の申し合わせ事項に準ずる。
- 10 競技方法 (1) 形競技(個人戦・団体戦)
 - ① 形競技(得点方式)
 - ア ROUND 1は第1指定形、鉄騎(ナイハンチ)、三戦、撃砕、平安(ピンアン)から選ぶ。
 - イ ROUND 2は第2指定形から選ぶ。
 - ウ ROUND 3(メダルマッチ)は得意形から選ぶ。
※ ROUND 1、ROUND 2で使用した形も使える。
 - エ 同点再演部では、本戦と違う形を演舞する。
 - (2) 組手競技
 - ① 競技時間等は以下のとおりとする。
 - ア、個人戦
1分間のフルタイムとし、4ポイント差で勝負を決する。
決勝戦のみ1分30秒間の6ポイント差で勝負を決する。
 - イ、団体戦
全試合1分間の4ポイント差で勝負を決する。
1, 2回戦は大將戦まで行う。3回戦以降は、勝敗が決まった段階で試合終了とする。
規定の過半数の選手(2人)で成立する。オーダーは自由に配置できる。
 - ② 競技者はニューメンホー(V・VI)、プロテクター、セーフティカップ(男のみ)、拳サポーター(全空連認定の青・赤)、シンガード、インステップガードの安全具を着用する。
団体組手の参加数が3チームの場合はリーグ戦とし、順位を決定する。
- ※ 申込人数が少ない場合、競技方法を見直し監督会にて確認する。
- 11 組み合わせ 第20回国頭地区新人大会の結果で上位4位までの選手をシードする。その他は令和2年7月22日(水)の監督会で抽選する。
場所: 東江中学校 第一理科室 時間: 16:00~
- 12 参加料 一人につき500円(7月22日の監督会で徴収)
- 13 表彰 競技別に団体、個人とも優勝・準優勝・3位を表彰する。
各競技の上位校(選手)に得点を与え、総合優勝校を決定し、優勝旗を与える
- 14 県大会参加 (※コロナウイルス感染拡大防止のため県大会は中止となりました)
- 15 その他 (1) 選手は必ず学校名を空手着の左胸に縫いつけること。
(2) 各学校の引率教員に大会役員(補助員)を割り当てる。
(3) 引率者の服装は白のワイシャツかブラウス・ポロシャツで統一とする。

第22回国頭地区中学校夏季総合体育大会空手道競技「細則」

1 選手の服装など

- (1) 空手着は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止とする。
- (2) 学校名が左胸にあること。(文字は黒色の縦書きで20 cm×8 cm程度、安全ピンで留めてある場合は棄権とする)
- (3) 上着の袖の長さは、最長手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くてはならない。
- (4) ズボンの長さは、脛を覆うほどの長さとし、踝が隠れてはならない。
- (5) 競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような物を身につけてはならない。
- (6) 女子選手の髪留めのゴムバンドは黒か茶のみとする。その他の装飾品は認めない。
- (7) 女子の肌着は白無地のTシャツとする。(ワンポイント、校名は認める)
- (8) 競技者の服装が正しくなかった場合、服装を正すために1分間が与えられる。(正せない場合は失格)
- (9) 空手着のヒモは結ぶこと。ヒモなしの空手着は不可とする。
- (10) 帯の長さは、大腿部の3/4を超えない程度とする。また、帯留めは使用してはならない。

2 形競技

- (1) 「(公財)全日本空手道連盟指定形」とは以下の形である。

【第1指定形】

- ・糸東流(セイエンチン、バツサイダイ)
- ・剛柔流(サイファ、セーパイ)
- ・松濤館流(カンクウダイ、ジオン)
- ・和道流(セイシャン、チントウ)

【第2指定形】

- ・糸東流(マツムラローハイ、ニーパイポ)
- ・剛柔流(セイサン、クルルンファ)
- ・松濤館流(エンピ、カンクウショウ)
- ・和道流(クーシャンクー、ニーセイシー)

- (2) 団体形の演武において発声が認められるのは「形の呼名」と「演武中の気合い」のみとする。
- (3) 各ラウンドで使用できる形の種類は次の通りとする。

ラウンド	使用できる形
1	第1指定形、鉄騎(サイフチ)初段～3段、三戦、撃砕I・II 平安(ヒソアン)初段～5段
2	第2指定形
3	得意形 (ROUND 1, 2で使用した形も使用できる)

- (4) 演武開始の礼と終了の礼をしなかった場合、反則となり得る。

3 組手競技

- (1) 得点となる攻撃部位は下記の通り。
「頭部」、「顔面」、「頸部」、「腹部」、「胸部」、「背部」「わき腹」である。
- (2) 得点の種類は下記の通り。
「1本」=3ポイント、「技あり」=2ポイント、「有効」=1ポイント
- (3) 下記を基準に得点部位への技に対し点が与えられる。
「良い姿勢」、「スポーツマンらしい態度」、「気力」、「残心」、「適切なタイミング」、「正確な距離」
- (4) 禁止行為は下記の2つに分類される
 - ①カテゴリー1 (C1と表記)
 - ・攻撃部位への過度の接触技
 - ・腕、又は脚部への攻撃、股間部、関節、又は足の甲への攻撃
 - ・貫手又は開手による顔面への攻撃(手刀、背刀は除く)
 - ・負傷の原因となる危険な、又は禁止されている投げ技、ウエストから下を持つこと
 - ・倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴りが当たった場合。
 - ②カテゴリー2 (C2と表記)
 - ・「誇張」、「場外」、「無防備」、「逃避行為」、「不活動」、「不必要な組み合い」、「コントロールされていない危険な攻撃」「頭部、膝、肘での攻撃をしようとした場合」、「不作法など」
 - ・倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴りが空振りした場合。

4 競技別得点(男女共通)

順位	1位	2位	3位
団体戦	15	10	7
個人戦	10	7	5

※同点の場合はベスト8に入った選手の人数が多い方とする。

令和2年度国頭地区夏季総合体育大会 新型コロナウイルス感染防止対策【空手道競技】

1 入場を制限する。

体育館内に入場できるのは、登録された選手・監督（コーチ）・審判・役員とする。

観戦者は体育館のギャラリーにて観戦する。なお、登録外の3年生、3年生の保護者を優先し、ソーシャルディスタンスが十分にとれる範囲での入場とする。

一般入場者の方は一般入場者連絡票を記載してもらう。

※ 会場入りの前に検温の実施・報告を行い、37.5度以上の場合は入場不可とする。

2 会場内では、以下の対応を行う。

- (1) マスクの着用を義務付ける。(試合中の選手は除く)
- (2) 常時、窓の開放と扇風機を使用して換気を良くする。
- (3) 館内放送で1時間に1回程度、「手洗い」と「うがい」の呼びかけを行う。
- (4) 館内消毒（ドアノブ、手洗い場所、競技用具など）を1時間に1回行う。
- (5) 選手、役員などが集合する場面では、2m程度の間隔を空ける。
- (6) 各学校の待機場所は大会本部が指定する。(密集を避けるため)

3 アルコール消毒液を以下の場所に設置する。参加校および選手個人での準備もお願いする。

- (1) 会場入口
- (2) 各試合場（コート）
- (3) 大会本部

4 開閉会式は行わない。

(1) 開会式に替えて、開会宣言および審判長注意のみを館内放送で実施する。

(2) 閉会式に替えて、入賞者の紹介、講評を館内放送で実施する。入賞者は大会終了後に個人で受け取る。

5 競技開始前の集合・整列は省き、選手は試合直前に試合場（コート）に直行する。

6 試合中の応援は拍手のみとする。

7 組手競技の方法を変更する。

(1) 個人戦

ア、1分間の4ポイント差で勝負を決する。

イ、決勝戦のみ1分30秒間の6ポイント差で勝負を決する。

(2) 団体戦

ア、全試合1分間の4ポイント差で勝負を決する。

イ、1・2回戦は大將戦まで行う。3回戦以降は、勝敗が決まった段階で試合終了とする。

ウ、規定の過半数の選手（2人）で成立する。オーダーは自由に配置できる。

8 競技内容等について

(1) 試合用安全具（メンホー、拳サポーター、インステップガード）や帯の共有は認めない。

(2) 形競技について、形名の呼称、気合は無しとする。

(3) 組手競技について、接触・飛沫感染を配慮して、気合を無しとする。

(4) 試合後の握手は禁止とする。